

CREATIVE SERIES

LESSE

SUPPORT ITEMS
FOR SALON WORK

Use LESSE
for a creative
salon work experience.

hoyu
Professional



CREATIVE SERIES

Use LESSE for a creative salon work experience.

脱色メカニズムの真相を解明。

ラジカルコントロールが、ヘアカラーの創造性を広げます。

これまで一般的に捉えられていた脱色作用のプロセスに、新しい発見がありました。それは、メラニンは分解される前に、メラニンラジカルという状態に変化するという事実です。この発見に基づいたレセ クリエイティブシリーズの2アイテムは、メラニンのラジカル化をコントロールすることを実現しています。トーンダウンした髪やグレイヘアのカラーチェンジなど、様々なヘアカラーワークをサポートします。

レセ ティントコントローラー

TINT CONTROLLER

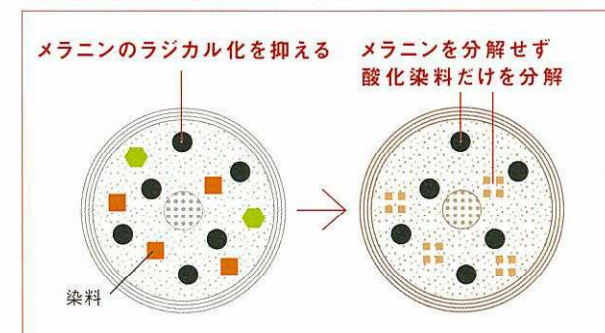
ヘアカラーの酸化染料だけを
穏やかに分解。

- 毛髪への負担はアルカリカラーと同等以下 ※当社比
- 色の抜け具合が把握しやすい脱染スピード



★OX2%を4倍で使用します。
(染料の残り具合に応じてOX6%をご使用ください。)

RADICAL CONTROL

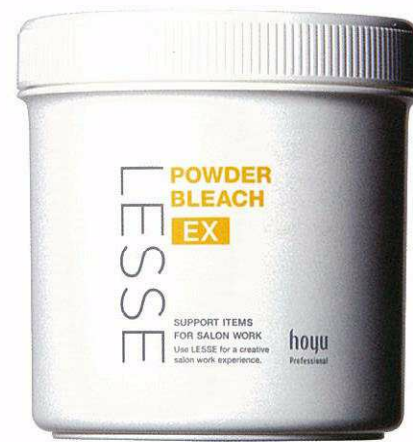


レセ パウダーブリーチ EX

POWDER BLEACH EX

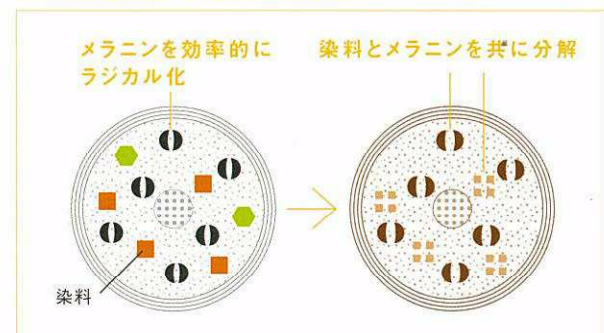
メラニンとヘアカラーの酸化染料を
しっかりと分解。

- 従来と比べダメージを軽減 ※当社比
- 急激な明度の変化が少ない脱色・脱染作用



★OX6%を2.5倍で使用します。
(希望の明るさに応じてOX2%をご使用ください。)

RADICAL CONTROL



※図はイメージです

ラジカルコントロール

RADICAL CONTROL 脱色・脱染の新メカニズムを応用した技術

ラジカルとは？

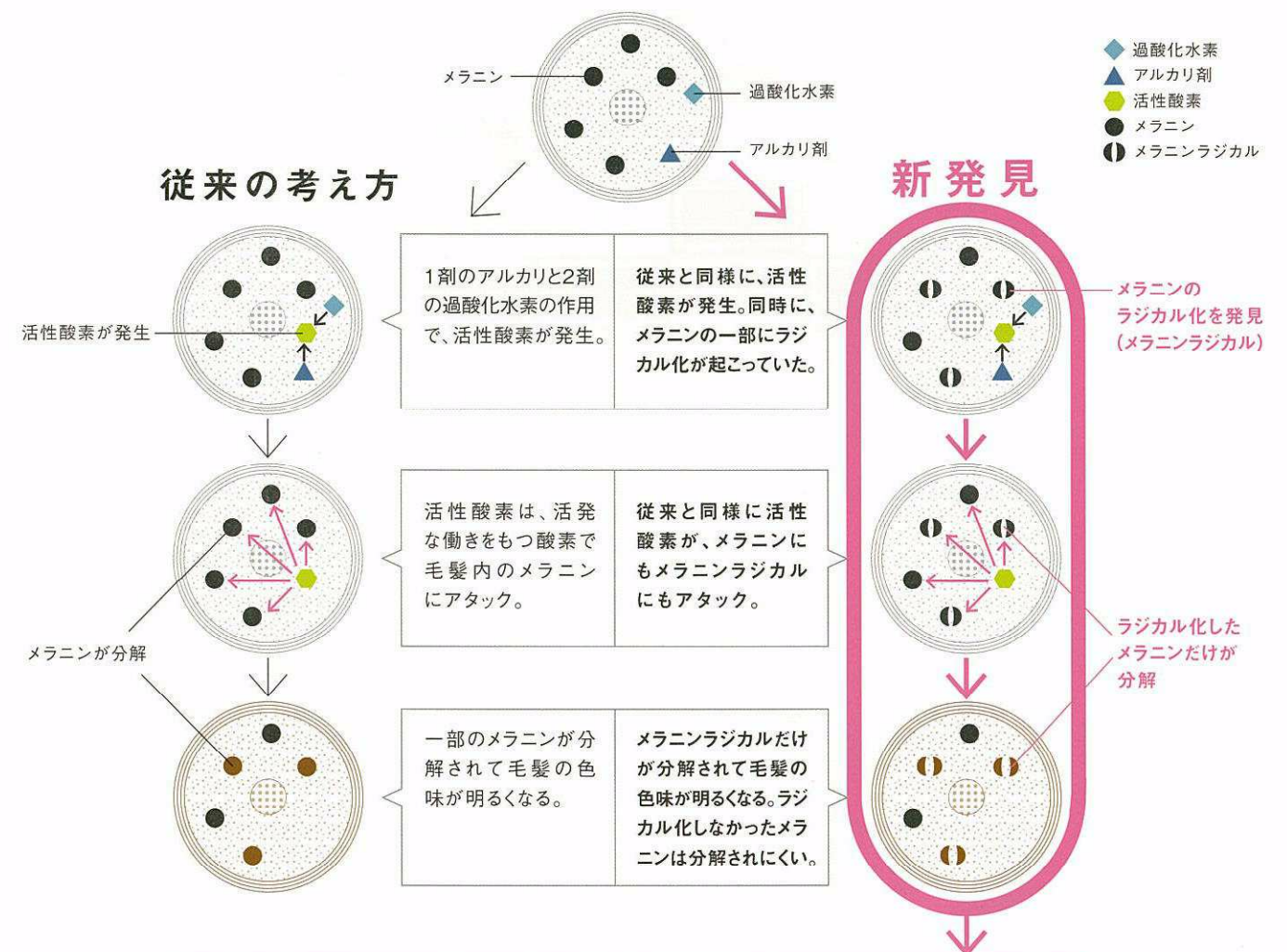
分子や原子などが不安定になって
反応を起こしやすくなった状態。

メラニン
【安定な分子】

→

アルカリ剤、酸化剤などが作用

ラジカル化したメラニン
【不安定な分子】



新発見の応用でラジカル化をコントロール

TINT CONTROLLER

メラニンの分解を抑制

POWDER BLEACH EX

メラニンの分解を効率化

※図はイメージです

各アイテムの脱色・脱染効果

脱色効果は 4レベルの黒髪の仕上がり明度を、脱染効果は 染毛した白毛の仕上がり明度を示しています。

□ = OX6%を使用した場合の仕上がりイメージです。 □ = OX2%を使用した場合の仕上がりイメージです。

- この脱色および脱染ガイドはティントコントローラーは20分、パウダーブリーチEXは30分で施術したときの明度を表示しています。
 - 実際の明度は、地毛の色や髪の状態により多少異なります。また、印刷物ですので実際の明度とは多少異なります。
 - 使用上の注意 ○ティントコントローラーは1剤：2剤=1：4で、パウダーブリーチEXは1剤：2剤=1：2.5で必ず使用します。
- 脱染剤、脱色・脱染剤(医薬部外品)は、「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。

TINT CONTROLLER

※1 剤：2 剤 = 1：4 で使用しています。放置時間は20分です

脱色		脱染							
15									
14									
13									
12			↑						↑
11		↑		↑	↑				
10							↑	↑	
9		↑							
8									
7									
6									
5									
4									
	4レベル	N系 4レベル	N系 6レベル	A系 6レベル	M系 6レベル	G系 6レベル	C系 6レベル	R系 6レベル	V系 6レベル
	黒髪	染毛後の白毛							

仕上がりをイメージする時のポイント - 実際の髪はアンダーレベルの色で仕上がりが変わります。

ティントコントローラーで脱染

12レベルの髪をN系6トーンでトーンダウンした状態

→

ティントコントローラー OX2%で脱染した状態

POWDER BLEACH EX

※1 剤：2 剤 = 1：2.5 で使用しています。放置時間は30分です

脱色		脱染							
20									
19									
18									
17									
16									
15				↑					↑
14			↑	↑	↑	↑			
13							↑	↑	
12		↑							
11	↑								
10									
9									
8									
7									
6									
5									
4									
	4レベル 黒髪	N系 4レベル	N系 6レベル	A系 6レベル	M系 6レベル	G系 6レベル	C系 6レベル	R系 6レベル	V系 6レベル
		染毛後の白毛							

仕上がりをイメージする時のポイント - 実際の髪はアンダーレベルの色で仕上がりが変わります。

パウダーブリーチEXで脱色・脱染

12レベルの髪をN系6トーンでトーンダウンした状態

→

パウダーブリーチEX OX2%で脱色・脱染した状態

ティントコントローラーの使用例

ティントコントローラーの代表的な使い方を紹介します。

プロセス・ポイント(P.7-P.8)とともに、お客様に使用するときの参考にしてください。

●実際の髪色は、地毛の色や髪の状態により多少異なります。また、印刷物ですので実際の明度とは多少異なります。

黒染めをしてムラのある髪を カラーチェンジ

暗めにトーンダウンしたお客様へ、
ダメージを気にせず新しい髪色の提案



TINT CONTROLLER



1 髪の状態を確認

12レベルの髪を1.5ヶ月前にナチュラル系
4レベルでトーンダウン。中間部は8レベル、毛先
は6レベルのムラになった状態です。

※パーマ施術後の髪はティントコントローラーでも明度
が上がる場合があります。

2 薬剤調合

ティントコントローラーを40g、OX2%を160g
の割合で混合します。

3 塗布

a.はじめに6レベルの毛先から薬剤を塗布します。

b.次に、8レベルの中間部に薬剤を塗布します。
塗り残しがないように新生部までオーバ
ラップします。

4 放置

塗布が終了したら、20分自然放置します。乾燥
しやすい状況であれば軽くラップを被せます。



5 カラーチェック

放置後、数箇所から毛束を取り出してカラー
チェックを行います。染料の取れ具合に応じて
時間を調節してください。放置時間は40分
以内にしてください。

6 シャンプー

カラーチェック後、地肌をこすり過ぎないよう
にシャンプーを行い、薬剤をしっかりと洗い
流します。

7 ドライイング

必要に応じて前処理を行ってから、髪を乾か
します。

8 脱染後の髪を確認

染料が分解されて、約11レベルの明るさにな
りました。ヘアカラーを行う際は、アンダー
レベルを確認し、薬剤を選定します。

※8レベル以上が希望の場合、新生部には1つ低い
色番の使用をお奨めします。(未処理毛より明度が
上がりやすくなります。)

※ティントコントローラーを新生部に塗布していな
いときは、希望通りの色番を選定してください。

●ヘアカラー施術

通常のヘアカラープロセス通り、新生部から
既染部に薬剤を塗布します。放置・カラー
チェック後、シャンプーを行います。

※ヘアカラーの施術前は、レセコートオイル(頭皮用
トリートメントオイル)の使用をお奨めします。

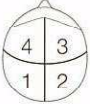
●仕上がり

ドライ後の仕上がりです。10レベルのアッシュ
系ブラウンに仕上がりました。

PROCESS プロセス

ベーシックプロセス

ティントコントローラーとパウダーブリーチEXを使用する際の基本的なプロセスを紹介します。
サロンワークでの施術にお役立てください。

1	髪の状態を確認	お客様の希望と髪の状態を把握します。 ※パーマ施術後の髪はティントコントローラーでも明度が上がることがあります。
2	薬剤選定	既染部の履歴や希望に応じて、適した1剤と2剤を選定します。 2剤の選定はP.3-P.4の 脱色・脱染ガイドと、 P.8①をご参照ください。
3	前処理	毛髪の保護が必要な場合は前処理剤を塗布します。
4	ドライイング	前処理剤塗布後、ハーフドライ以上に乾かします。
5	セクショニング	髪を4つのセクションに分けます。 
6	薬剤調合	1剤と2剤を調合します。 使用量はP.8②をご参照ください。
7	薬剤塗布～放置	塗布はできるだけすばやく正確に行ってください。 塗布後は自然放置します。 脱染時の塗布はP.8③を、 放置時間はP.8④を ご参照ください。
8	カラーチェック	トップやネープなど、数箇所から毛束を取り出し、 薬剤をコットン等でふき取りチェックします。 P.5のケースワークをご参照ください。
9	シャンプー	十分に水洗を行った後、シャンプー剤で薬剤を洗い流します。 オーバーカラーを行う際は頭皮をこすり過ぎないように気をつけます。
10	後処理剤	アルカリ性に傾いたpHを、過収れんを起こさない程度 酸性に戻すために、後処理剤を塗布します。
11	トリートメント	コンディションをよくするためにトリートメントを塗布します。

POINT ポイント

使用時のポイント

ティントコントローラーとパウダーブリーチEXをご使用いただくときのポイントを紹介します。

① 2 剤 の 選 定 について

使用する2剤は希望の明るさに応じて、P.3-P.4の脱色・
脱染ガイドを参考にしてください。OX6%とOX2%の間
が必要な場合は、2剤を4%に調節してご使用ください。

4% 2 剤 の 作 り 方
OX6%+OX2%を1:1の割合で混合してください。
4% 2 剤 = [OX6%] + [OX2%]
1 : 1

② 使用量の目安

右表を参照に、髪の長さや毛量に応じて薬剤を調合
してください。各アイテムの混合比は下記の通りです。

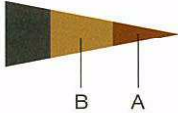
ティントコントローラー 1 剤 : 2 剤 = 1 : 4
パウダーブリーチEX 1 剤 : 2 剤 = 1 : 2.5

		1 剤	2 剤
ティントコントローラー	ショート	25 g	100 g
	ミディアム	30 g	120 g
	ロング	40 g	160 g
パウダーブリーチEX	ショート	36 g	90 g
	ミディアム	48 g	120 g
	ロング	60 g	150 g

髪の長さの目安○ショート：耳下程度 ○ミディアム：肩下程度 ○ロング：胸元程度

③ 脱 染 する 時 の 塗 布 順 序

脱染を行うときは、染料が一番強く残っている部分から
塗布します。必要に応じて5分程度の時間差をつけます。

- 染料が強く残っているAからティント
コントローラー+OX2%=1:4を塗布。
 - 塗布後5分放置。
 - 染料が残っているBにティントコ
ントローラー+OX2%=1:4を塗布。
 - 20分放置。
 - カラーチェック後、シャンプー。
- 染料が取れにくそうなときは、A部分にティントコントローラー
+OX6%=1:4を使用しても効果的です。
- 

④ 放 置 時 間 について

右記放置時間を目安に、明度の上がり具合や希望
の明度に応じ、最大40分以内で調節してください。

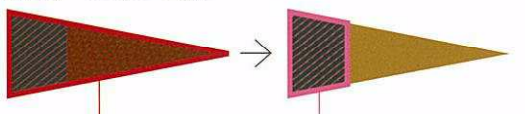
	基本放置時間
ティントコントローラー	20分
パウダーブリーチEX	10分～30分

⑤ ティントコントローラー施術後のヘアカラー剤選定について

2プロセス目のヘアカラーで、8レベル以上が希望の
場合、新生部には1つ低い色番の使用をお奨めします。
(未処理毛より明度が上がりやすくなります。)

※ティントコントローラーを新生部に塗布していないときは、希望
通りの色番を選定してください。
※ヘアカラーの施術前は、レセコートオイル(頭皮用トリート
メントオイル)の使用をお奨めします。

ティントコントローラーを
新生部から塗布した場合



シャンプー後のヘアカラー施術

新生部のアルカリカラー剤は
希望より1レベル低い色番を選定

※図はイメージです

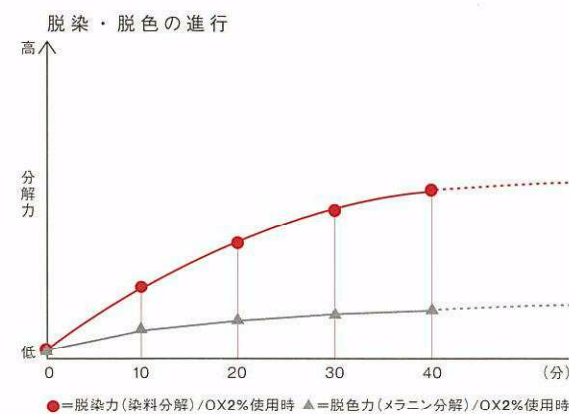
髪への負担が少なく、計算しやすい脱色・脱染機能でヘアカラーワークをサポート

ティントコントローラーとパウダーブリーチEXは、ヘアカラー毛への施術を踏まえて、髪のダメージケアに多角的にアプローチしています。
また、脱色力と脱染力のバランスを見直すことで、施術がしやすくムラになりにくい仕上がりを目指しています。

TINT CONTROLLER

色の抜け具合が把握しやすい 脱染スピード

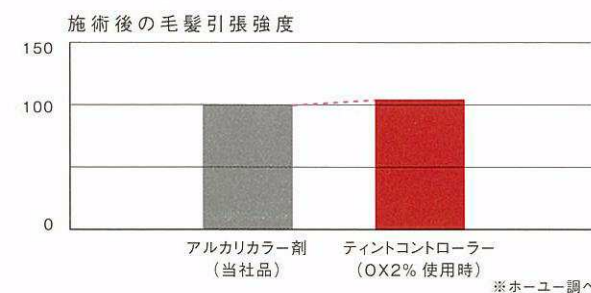
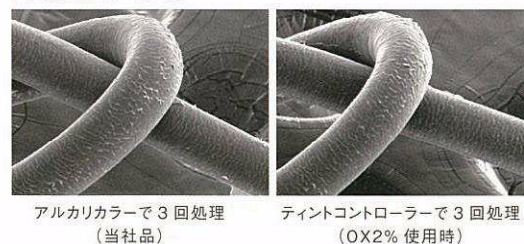
ティントコントローラーの脱染作用は、放置時間に合わせて適度に分解作用が進んでいきます。染料の残り具合に応じた時間差の塗りわけなど、髪の状態に適した施術がしやすい設計です。



アルカリカラーと 同等以下のダメージで脱染

ティントコントローラーは、メラニンの分解を抑えるラジカルコントロールと3つのダメージケア成分によって、アルカリカラーと同等以下のダメージで染料の分解を可能にします。毛髪表面はもちろん、毛髪内部へのダメージも少なくなっています。

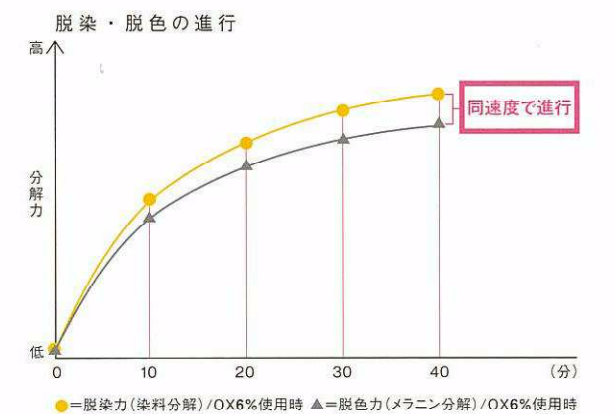
3回施術毛の比較



POWDER BLEACH EX

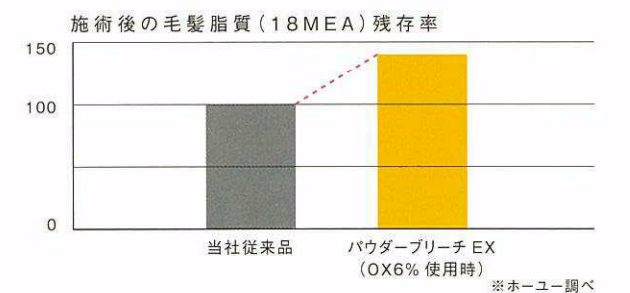
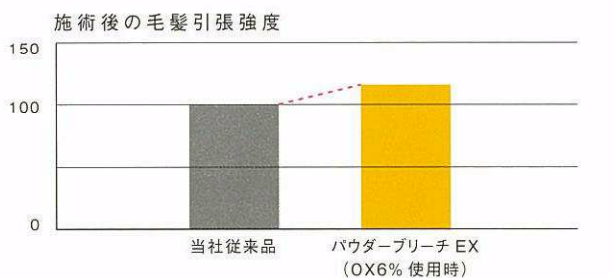
急激な明度の変化が少ない 脱色・脱染作用

パウダーブリーチEXは、放置時間に合わせて脱色作用と脱染作用が同じスピードで進んでいきます。従来よりも急激な明度の変化や上がりすぎが少ない設計なので、放置時間での明度調節がしやすく安定的な仕上がりが得られやすくなります。



毛髪強度、毛髪脂質への 影響を軽減

パウダーブリーチEXは、ダメージケアの3つのアプローチによって、従来よりも毛髪強度、毛髪脂質への影響を軽減しながら、高い脱色・脱染効果を可能にしています。ダメージを起こしやすい高明度のカラーリングだからこそ、従来以上の配慮をしています。



2アイテム共通の ダメージケア

3つの成分による
アプローチ

1 損傷防止成分

○アルギニン
(毛髪保護剤)



毛髪表面付近で生成するダメージ原因物質を、損傷防止成分が**トラップ**し、毛髪表面の損傷を防ぎます。

2 コンディショニング成分

○カチオン化セルロース
(毛髪保護剤)



毛髪のダメージ部分を選択的に**コート**することで、薬剤の毛髪への作用を均一にし、過剰なダメージを防ぎます。

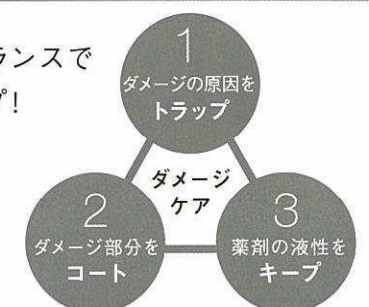
3 乾燥防止成分

○バレイショデンプン
(基剤)



薬剤の液性を**キープ**(乾きにくく)することで、なめらかな操作性を維持し、施術時の毛髪への物理的ダメージを緩和します。

3つのバランスで 効果アップ!



※写真はイメージです

◎ レセ クリエイティブシリーズ

◎ レセ ストレスフリーシリーズ



レセ ティントコントローラー
〈脱染剤〉
300g

医薬部外品



レセ パウダーブリーチEX
〈脱色・脱染剤〉
360g

医薬部外品



レセ コートオイル
〈頭皮用トリートメントオイル〉
120mL



レセ プロテクトクリーム
〈保護クリーム〉
115g



レセ リムーバーローション
〈ふきとり用化粧水〉
250mL